



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 大澤 弘毅
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	2,273	8.7	334	15.8	328	11.6	212	14.0
27年12月期第2四半期	2,092	17.6	289	106.1	294	108.2	186	95.2

(注)包括利益 28年12月期第2四半期 203百万円 (8.5%) 27年12月期第2四半期 187百万円 (104.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	22.01	—
27年12月期第2四半期	19.31	19.30

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	3,183		2,568		80.7		265.92	
27年12月期	3,057		2,418		79.1		250.36	

(参考)自己資本 28年12月期第2四半期 2,568百万円 27年12月期 2,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	2.00	—	5.50	7.50
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	6.50	6.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	4,700	10.8	630	8.1	630	6.0	400	4.9	41.41	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期2Q	10,242,000 株	27年12月期	10,242,000 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

28年12月期2Q	582,237 株	27年12月期	582,237 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期2Q	9,659,763 株	27年12月期2Q	9,659,763 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和政策などにより一部では企業業績の向上や雇用・所得環境の改善が進みましたが、マイナス金利政策の導入、円高傾向や株価の下落、中国や東南アジアなどの新興国の経済減速などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、投資情報サービス、金融向けソリューションサービスが順調に業績を伸ばしており、金融関連以外の分野においても、W2Pクラウドサービス、翻訳サービスも好調に推移してきております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,273百万円(前年同期比181百万円増、8.7%増)、営業利益は334百万円(前年同期比45百万円増、15.8%増)となりました。また、経常利益は328百万円(前年同期比34百万円増、11.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は212百万円(前年同期比26百万円増、14.0%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

証券会社向けシステムソリューション、IFISコンセンサス・データ・サービスが堅調に推移するとともに、資本市場関係者向けリアルタイムニュース、キャピタル・アイニュースなどの主力商品が着実に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は435百万円(前年同期比70百万円増、19.5%増)、営業利益は208百万円(前年同期比9百万円増、4.8%増)となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

証券調査レポートやIR関連印刷物の受注は前年同水準となっておりますが、保険会社向けシステム開発、ドキュメントサービスが引き続き好調に推移しており、W2Pクラウドサービスや翻訳サービスも好調を継続しております。

その結果、売上高は624百万円(前年同期比110百万円増、21.6%増)、営業利益は76百万円(前年同期比16百万円増、28.2%増)となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場は、株価の下落と円高傾向などから、先行き不透明感が増しております。これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は前年同期比で微減しております。一方、確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービスは好調を継続しております。

その結果、売上高は808百万円(前年同期比8百万円減、1.1%減)、営業利益は208百万円(前年同期比2百万円増、1.0%増)となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発は引き続き好調に推移しております。マイグレーションに関する開発及びライセンス販売も堅調を維持しておりますが、システムエンジニアリングサービスでは事業会社向けで横ばい、証券・金融業向けで減少は止まったものの苦戦が続いております。

その結果、売上高は376百万円(前年同期比14百万円減、3.7%減)、営業利益は23百万円(前年同期比9百万円減、29.9%減)となりました。

<その他事業>

「データ化サービス」や「ECワンストップサービス」などの提供を推進し、より利便性の高いサービス内容の追求に従事しております。

その結果、売上高は28百万円(前年同期比22百万円増、368.9%増)、営業損失は12百万円(前年同期は営業損失29百万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ125百万円増加し、3,183百万円となりました。

流動資産合計は42百万円増加し、2,629百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が48百万円減少する一方で、受取手形及び売掛金が110百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は82百万円増加し、553百万円となりました。主な要因は、事業譲受等に伴いのれんが72百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、614百万円となりました。

流動負債合計は24百万円減少し、597百万円となりました。主な要因は、買掛金が12百万円、未払法人税等が25百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債合計は0百万円減少し、16百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債が0百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ150百万円増加し、2,568百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益212百万円の計上と、剰余金の配当53百万円によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況の分析>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ49百万円減少し、1,933百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、取得した資金は72百万円(前年同期は289百万円の取得)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益329百万円、減価償却費30百万円、のれん償却額10百万円であります。また、支出の主な内訳は、売上債権の増加額109百万円、未払又は未収消費税等の減少額21百万円、法人税等の支払額135百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は68百万円(前年同期は126百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、事業譲受による支出34百万円、無形固定資産の取得による支出18百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は53百万円(前年同期は48百万円の支出)となりました。支出は全額、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月10日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,030,368	1,981,335
受取手形及び売掛金	400,422	511,343
仕掛品	32,031	49,292
その他	124,150	87,380
貸倒引当金	△4	—
流動資産合計	2,586,967	2,629,951
固定資産		
有形固定資産	34,997	42,240
無形固定資産		
のれん	60,333	132,992
ソフトウェア	99,219	96,930
その他	10,922	2,109
無形固定資産合計	170,475	232,032
投資その他の資産	264,983	278,944
固定資産合計	470,456	553,217
資産合計	3,057,424	3,183,168
負債の部		
流動負債		
買掛金	203,402	190,669
未払法人税等	138,142	112,932
賞与引当金	14,901	17,480
その他	265,374	276,502
流動負債合計	621,820	597,585
固定負債		
退職給付に係る負債	14,708	14,223
その他	2,520	2,657
固定負債合計	17,228	16,880
負債合計	639,049	614,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	1,661,118	1,820,582
自己株式	△77,928	△77,928
株主資本合計	2,404,010	2,563,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△223	△485
為替換算調整勘定	14,588	5,715
その他の包括利益累計額合計	14,365	5,229
純資産合計	2,418,375	2,568,703
負債純資産合計	3,057,424	3,183,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,092,211	2,273,873
売上原価	1,308,507	1,394,542
売上総利益	783,704	879,331
販売費及び一般管理費	494,537	544,463
営業利益	289,167	334,868
営業外収益		
受取利息	1,168	1,094
受取配当金	116	166
持分法による投資利益	1,697	850
為替差益	1,220	—
その他	813	214
営業外収益合計	5,016	2,327
営業外費用		
為替差損	—	8,639
その他	8	235
営業外費用合計	8	8,874
経常利益	294,175	328,321
特別利益		
移転補償金	—	9,715
特別利益合計	—	9,715
特別損失		
固定資産除却損	186	—
事務所移転費用	—	8,966
特別損失合計	186	8,966
税金等調整前四半期純利益	293,989	329,070
法人税、住民税及び事業税	93,788	108,510
法人税等調整額	13,679	7,967
法人税等合計	107,467	116,477
四半期純利益	186,521	212,592
親会社株主に帰属する四半期純利益	186,521	212,592

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	186,521	212,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	△261
持分法適用会社に対する持分相当額	1,095	△8,873
その他の包括利益合計	1,007	△9,135
四半期包括利益	187,528	203,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,528	203,456

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	293,989	329,070
減価償却費	28,863	30,842
のれん償却額	2,972	10,433
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△390	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,052	2,578
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	341	△485
受取利息及び受取配当金	△1,285	△1,261
持分法による投資損益(△は益)	△1,697	△850
固定資産除却損	186	—
移転補償金	—	△9,715
移転費用	—	8,966
売上債権の増減額(△は増加)	△3,314	△109,161
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,792	△17,261
仕入債務の増減額(△は減少)	64,701	△12,733
未払又は未収消費税等の増減額	△30,152	△21,789
その他	12,839	△3,083
小計	358,312	205,545
利息及び配当金の受取額	1,967	1,965
移転補償金の受取額	—	4,425
移転費用の支払額	—	△4,251
法人税等の支払額	△74,132	△135,326
法人税等の還付額	3,133	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,280	72,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,595	△10,497
無形固定資産の取得による支出	△10,092	△18,279
事業譲受による支出	△110,000	△34,538
投資有価証券の償還による収入	205	193
差入保証金の差入による支出	—	△4,205
差入保証金の回収による収入	24	146
保険積立金の積立による支出	△480	△480
定期預金の預入による支出	△600	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126,538	△68,262
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△48,298	△53,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△48,298	△53,128
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	114,443	△49,034
現金及び現金同等物の期首残高	1,672,497	1,982,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,786,941	1,933,325

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	投資情報 事業	ドキュメントソ リューション事業	ファンド ディスク ロージャー事業	I Tソリ ューション事業				
売上高								
外部顧客への売上高	364,474	513,547	817,248	390,773	6,168	2,092,211	—	2,092,211
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	16,214	—	10,672	—	27,886	△27,886	—
計	365,474	529,761	817,248	401,446	6,168	2,120,098	△27,886	2,092,211
セグメント利益又は損 失(△)	198,947	59,605	206,532	32,884	△29,019	468,950	△179,783	289,167

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△179,783千円には、セグメント間取引消去△2,752千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△177,030千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	投資情報 事業	ドキュメントソ リューション事業	ファンド ディスク ロージャー事業	I Tソリ ューション事業				
売上高								
外部顧客への売上高	435,416	624,411	808,674	376,448	28,922	2,273,873	—	2,273,873
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	15,605	—	5,717	—	21,322	△21,322	—
計	435,416	640,017	808,674	382,165	28,922	2,295,196	△21,322	2,273,873
セグメント利益又は損 失(△)	208,566	76,401	208,581	23,056	△12,069	504,536	△169,667	334,868

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△169,667千円には、セグメント間取引消去△181千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△169,486千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。